

別 表

(1) 冊子版「航空と文化」No.121号、122号目次

121号 (夏季号)

◇特集 宇宙新時代へのメッセージ

- ・アポロ月面着陸から50年ー「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ
JAXA名誉教授 はまぎんこども宇宙科学館館長 的川泰宣
- ・月・火星探査の国際動向と日本の取り組み
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 理事
有人宇宙技術部門長／国際宇宙探査センター担当 佐々木宏
- ・The NewSpace Economy ～宇宙ベンチャーが作り出す新宇宙経済圏～
宇宙エバンジェリスト 一般社団法人SPACETIDE 共同創業者&理事
一般社団法人Space Port Japan 共同創業者&理事 青木英剛
- ・『伊藤音次郎日記』にみるスペインかぜ 航空パイオニアのみた100年前のパンデミック
日本航空協会航空遺産継承基金事務局 成城大学民俗学研究所研究員 今野大輔
- ・2020青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2020FAIヤングアーティストコンテスト国内予選)
日本航空協会
- ・一般財団法人日本航空協会 令和元年度事業報告および令和2年度事業計画
日本航空協会

(敬称略)

122号 (新春号)

- ・新年のご挨拶
日本航空協会 会長 篠辺 修
- ・航空輸送ー安全性向上の歴史
元 航空局技術部長 元 運輸安全委員会委員長代理 遠藤信介
- ・グライダーの最新事情
公益社団法人日本滑空協会事務局長 佐志田伸夫
- ・小谷式ユングマンの挑戦
エクスペリメンタル航空機連盟理事 小谷修一
- ・令和2年度「空の日」 航空関係者表彰式
日本航空協会
- ・「航空図書館」の最近の取組について
日本航空協会 文化情報室

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

掲載日	タイトル	執筆者
2020. 6. 8	H145/BK117 D-2型ヘリコプタの設計変更概要	牛丸 義晶
2020. 8. 6	『伊藤音次郎日記』にみるスペインかぜ —航空パイオニアのみた100年前のパンデミック—	今野 大輔

(敬称略)

別表2

航空スポーツ団体の活動状況

	(一社)日本航空連盟 (NKR)	エクスペリメンタル航空連盟 (EXAL)	(公社)日本航空機操縦士協会 (JAPA)	(公社)日本滑空協会 (JSA)	日本機型航空連盟 (JMA)	(公社)日本ハング・パラグライディング連盟 (JHF)	(NPO)日本マイクロライト航空連盟 (JML)	日本パラモーター協会 (JPMA)	★スカイダイビング 2006年以降国内練習団体なし
実施種目	熱気球 ガス気球	自航空機 ・固定翼機 ・ヘリコプター ・ジャイロプレーン ・人力航空機	飛行機 (ジェット機、プロペラ機) ヘリコプター (ローターcraftラフト) 曲技飛行 (エアロバティックス)	滑空機 (グライダー) 動力滑空機 (モーターグライダー)	機型航空機 ・ゴム動力機 ・エンジン機 ・電動機 ・グライダー ・ヘリコプター他 ・機型ロケット ・マルチローター (ドローン)	・ハンググライダー ・パラグライダー (補助動力付を含む)	マイクロライト (超軽量動力機) ・紙面機模型 ・体重移動機模型 ・パラシュート型	・パラモーター (RPF1, RPF2) ・パワードハンドグライダー (RWF1, RWF2)	スカイダイビング ・アキレス ・フキメーション スカイダイビング ・フリースタイル ・フリーフライト
会員数	1,457人	約100人	617人	496人	6,062人	6,691人	455人	860人	-
愛好者全体数	約7,000人	約300人	約600人	約3,000人	約7,800人	約15,000人	約630人	約4,000~5,000人	-
機体数	374機	約200機	不明	350機	不明	不明	約540機	不明	-
備考	上記は有効機体登録数。気球連盟への累計機体登録数は1643機	【エアバス・リビア航空機】飛行機等の製作などの活動は低調。 【人力航空機】毎年島人即ち航空機が開催されるため、人力機の活動は活発。2020年大会(7月)は、新型コロナウィルスの影響で中止。 【曲技飛行】各拠点で個人又はグループで活動。国際選手権は開催無し。FAI CIWA会議(11月)米回客の訪問も開催。尾尾みや子氏らがゲストとして参加。	【飛行機】活動停止。 【ヘリコプター】活動停止。 【曲技飛行】各拠点で個人又はグループで活動。国際選手権は開催無し。FAI CIWA会議(11月)米回客の訪問も開催。尾尾みや子氏らがゲストとして参加。	注：上記数値は2019年度の滑空統計データ。 2020年は新型コロナウィルスの影響で世界選手権が延期されるなど、低調。	機体個別の登録制度なし 新型コロナウィルスの影響により見送られた大会(3月)は延期され、R/C大会(10月)も延期。R/C大会(10月)も延期。R/C大会(10月)も延期。R/C大会(10月)も延期。	安全委員会への型式登録数(累計) ・ハンググライダー 377機 ・パラグライダー 1,407機	【ハング・パラグライダー】11月日本選手権大会(10月茨城)→不成立、40名参加 →山口裕之(選手権者)、16名参加 【ヘリコプター】11月日本選手権大会(9月茨城)→成山基義(選手権者)、平木晋子(女子)、69名参加 →岡若樹(選手権者)、山口香代(女子)、28名参加	国土交通省への登録機数 ・紙面機模型 約340機 ・体重移動機模型 約200機	事前確認・安全装備不十分による1件の重大事故(死亡)が発生。安全装備不足は、慣れが気の緩みとなるので互いに指摘し合うことも必要。安全研修会等でも共有することで、安全意識向上に努める。 安全研修会 徳島、神奈川、愛知で開催。死亡事故を受けて、実地研修会を千葉、滋賀、北海道で開催。 新型コロナウィルスの影響により国内・国際ともに中止。新たにClass III 技量認定とクラス A 技量認定を新設。

日本航空協会認定団体の活動状況 (★：現在認定経団団体なし)

別表 3

1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. ハング・パラグライダー 2020 East Japan Championship Summer Meeting	-	2020. 8. 13 ～16 中止	茨城県 石岡市	-
パラグライダー 日本選手権 in ASIO	総合 成山 基義 女子 平木 啓子	2020. 09. 18 ～22	茨城県 石岡市	70名
2020ハンググライダー 日本選手権 in 板敷	-	2020. 10. 1 ～4 不成立	茨城県 石岡市	40名
2020 Hang Gliding Class V Japan Championship IN ASHIO	総合 山口 裕之	2020. 10. 31 ～11. 03	茨城県 石岡市	16名
East Japan Championship 2020	総合 小椋 溪太	2020. 11. 20 ～23	茨城県 石岡市	55名
パラグライダーアキュラシー 日本選手権 in ASAGIRI	総合 岡 芳樹 女子 山口 香代	2020. 11. 28 ～29	静岡県 富士宮市	28名
西富士ジャパクラシック2021	-	2021. 1. 9 ～11 中止	静岡県富士宮市	-
2021ハンググライダー 日本選手権 in 紀の川スカイグ ランプリ	-	2021. 2. 20 ～23 中止	和歌山県 紀の川市	-
2021板敷山スプリングフライト	-	2021. 3. 18 ～21 中止	茨城県石岡市	-

2) 公認した日本選手権

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 令和2年度(第36回) 熱気球日本選手権	藤田 雄大	2020. 12. 11 ～14	栃木県栃木市	22機
2. 模型航空機 F1A フリーフライト・グライダー F1B フリーフライト・ゴム動力機 F1C フリーフライト・エンジン機	-	2020. 11. 21 ～23 中止	千葉県旭市	-
F1D フリーフライト・室内機	-	2020. 09. 5 ～6 中止	長野県松本市	-

F2B	コントロールライン・曲技	-	2020.09 中止	福井県	-
F3A	ラジオコントロール・曲技	-	2020.08.26 ～30 中止	福井県	-
F3B	ラジオコントロール・ グライダー	-	2020.09.11 ～13 中止	栃木県	-
F3C	ラジオコントロール・ ヘリコプター	-	2020.11.26 ～29 中止	栃木県	-
F3D	ラジオコントロール・ パイロンレーシング	-	2020.09.19 ～21 中止	三重県	-
F3J	ラジオコントロール・ 手曳航グライダー	-	2020.05.15 ～17 中止	栃木県	-
F3K	ラジオコントロール・ ハンドランチグライダー	-	2020.09.25 ～27 中止	千葉県野田市	-
F3P	ラジオコントロール・ 室内曲技	-	2020.11.15 中止	富山県庄内市	-
F5B	ラジオコントロール・ 電動グライダー	-	2020.11.07 ～08 中止	千葉県野田市	-
F5J	ラジオコントロール・ 電動サーマルグライダー	-	2020.10.10 ～11 中止	徳島県	-
3.	ハング・パラグライディング パラグライディング 日本選手権 in ASIO (FAI Category II)	総合 成山 基義 女子 平木 啓子	2020.09.18 ～22	茨城県 石岡市	70名
	パラグライディングアキュラシー 日本選手権 in ASAGIRI (FAI Category II)	総合 岡 芳樹 女子 山口 香代	2020.11.28 ～30	静岡県 富士宮市	28名
	2020ハンググライディング 日本選手権 in 板敷 (FAI Category II)	-	2020.10.1 ～4 不成立	茨城県 石岡市	40名
	2020 Hang Gliding Class V Japan Championship IN ASHIO (FAI Category II)	総合 山口 裕之	2020.10.31 ～11.03	茨城県 石岡市	16名
	2021ハンググライディング 日本選手権 in 紀の川 スカイランプリ	-	2021.2.20 ～23 中止	和歌山県 紀の川市	-
4.	マイクロライト 第12回マイクロライト航空機 日本選手権大会	-	2020.09 2021年に延期	東北地方	-

2020年度JPMAパラモーター 日本選手権	-	中止	茨城県	-
---------------------------	---	----	-----	---

3) 後援した競技会等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 2020熱気球ホンダ・グランプリ	総合1位 藤田 雄大			
第1戦 栃木市・渡良瀬バルーンレース2020	藤田 雄大	2020.12.11 ～14 ※4/3～6より 延期	栃木県栃木市藤岡町 渡良瀬遊水地周辺	33機
第2戦 佐久バルーン フェスティバル2020	-	2020.05.03 ～05 中止	長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場	-
第3戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2020	上田 諭	2020.10.16 ～18	岩手県一関市 水辺のプラザ	24機
第4戦 2020佐賀インターナショナル・ バルーンフェスタ	-	2020.10.31 ～11.03 中止	佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷	-
第5戦 鈴鹿バルーン フェスティバル2020	-	2020.11.21 ～23 中止	三重県鈴鹿市 鈴鹿川河川緑地 鈴鹿サーキット	-
第46回 北海道バルーン フェスティバル	-	2020.08 中止	北海道河東郡上士幌町 上士幌町航空公園	-
2. 滑空機 (グライダー) 第61回 全日本学生グライダー 競技選手権大会	-	2021.03.10 ～14 中止	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	-
第59回 全国七大学総合体育大会 航空の部	-	2021.02 中止	千葉県関宿町 NPO関宿滑空場	-
第23回 東京六大学対抗 グライダー競技会	-	2020.09 中止	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	-

4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加国	日本人 成績
1. 熱気球 第4回熱気球女性世界選手権	-	2020.08.11～ 15 中止	ポーランド	-	-
第64回 FAI GORDON BENNETT	-	2020.08.27 ～09.04 2021年に延期	ポーランド	-	-

第24回FAI熱気球世界選手権	-	2020. 9. 20 ～26 2022年に延期	スロベニア	-	-
2. 滑空機 (グライダー) 第36回滑空世界選手権	-	2020. 07. 19 ～08. 01 2021年に延期	Stendal飛行場 (ドイツ)	-	-
3. 模型航空機 F1D フリーフライト 室内機	-	2021. 03. 19 ～22 延期	ルーマニア	-	-
F2B コントロールライン 曲技	-	2020. 08. 10 ～15 中止	ポーランド	-	-
F3J ラジオコントロール 手曳きグライダー	-	2020. 08. 03 ～10 中止	スロバキア	-	-
F4C/H ラジオコントロール フライング・スケール	-	2020. 07. 25 ～08. 01 中止	ノルウェー	-	-
F5B ラジオコントロール 電動グライダー	-	2020. 09. 13 ～18 中止	ブルガリア	-	-
S スペース	-	2020. 08. 21 ～29 中止	ルーマニア	-	-
4. ハング・ パラグライディング 第9回FAIハンググライディング・クラス5世界選手権/ 第14回FAIハンググライディング女子世界選手権	-	2020. 04. 19 ～05. 01 中止	Florida (アメリカ)	-	-
第4回FAIパラグライディング アキュラシーアジア選手権	-	2020. 05. 30 ～06. 07 延期	カザフスタン	-	-

別表 4

1. FAI国際記録 (FAIより認定された記録)

該当なし

2. 日本記録 (当協会が認定した記録)

該当なし

2) F A I スポーツ・ライセンス (2020年1月1日～12月31日)

種 目	F A I スポーツ・ライセンス発行			有効登録者数 (12月31日現在)
	新規発行	更 新	合 計	
熱 気 球	1	1 5	1 6	6 6
人 力 飛 行 機	0	0	0	0
滑 空 機	0	1 8	1 8	4 4
模 型 航 空 機	3	6	9	1 1 6
パラシュート	0	1	1	8
ハンググライダー (含パラグライダー)	1 2	4 1	5 3	2 6 8
超 軽 量 動 力 機	0	1	1	6
飛 行 機	0	0	0	1
その他 (Rotor craft)	0	0	0	0
合 計	1 6	8 1	9 8	5 0 9

3) 資格証の発行数 (2020年1月1日～12月31日)

1. 滑空機

種 目	種 目	件 数
1. F A I 国際滑空記章 ※ () 内は、内数 平成22年4月1日より、認定証書 のみ発行し、バッジは申請者の 選択性とした。	銀 章 (※認定証のみ)	1 (0)
	金 章 (※認定証のみ)	1 (0)
	ダイヤモンド距離章	1
	ダイヤモンド高度章	0
	ダイヤモンド目的地章	1
	3ダイヤモンド章	0
	750km章 (※認定証のみ)	0 (0)
	1,000km以上章	0
2. 飛行成績証明書 ※記章発行 (単一科目達成時及 び複数科目の最終項目達成 時) を除く。	滞 空 5時間 (5H)	5
	距 離 50km (5K)	1
	高 度 1,000m (1M)	4
	距 離 300km (3K)	0
	高 度 3,000m (3M)	2
	目的地 300km (3D)	1
	高 度 5,000m (5M)	0
	距 離 500km (5D)	1
	距 離 750km (7D)	0
	距 離 1,000km (10D)	0
距 離 1,500km (15D)	0	

2. 模型航空機

種 目	種 目	件 数
1. 技能証 R/C ヘリコプター	A級	0
	B級	1
	C級	1
	D級	0
	E級	0
C/L 飛行機	A級	1
	B級	1
	C級	1
	D級	2

3. パラシューティング

種 目	種 目	件 数
1. 落下傘降下士技能証	A技能証	0
	B技能証	0
	C技能証（銀）	0
	D技能証（金）	0
2. 国際パラシューティング技能証	A技能証	0
	B技能証	0
	C技能証	0
	D技能証	0

別表5

1) 主催事業

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム (第46回)	2020. 11. 28	桑折町ふれあい公園、イコーゼ /福島県伊達郡	26名
	2021. 03 中止	東京臨海広域防災公園 /東京都江東区	—
こども模型飛行機教室 (全国-箇所、参加者数-名) *参加者数は子供のみ	2020. 11. 28	桑折町ふれあい公園、イコーゼ /福島県伊達郡 ◎	26名
	2021. 03 中止	東京臨海広域防災公園 /東京都江東区 ◎	—

2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

名 称	開 催 日	場 所	備 考
東日本大震災支援熱気球イベント 「空を見上げて」 IN東京	2020.03 中止	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	-
第26回 スカイスports シンポジウム (一社)日本航空宇宙学会主催	2020.12 中止	都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス	-

3) 後援事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
第45回 二宮忠八翁 飛行記念大会	2020.04.29 中止	愛媛県八幡浜市 市民スポーツパーク グラウンド	-
第31回札幌航空ページェント	2020.05.24 中止	北海道札幌市 丘珠飛行場	-
第43回 鳥人間コンテスト 選手権大会2020	2020.07.25 ~26 中止	滋賀県彦根市 松原水泳場周辺	-
2020 北海道スカイスports フェア イン 余市	2020.07.26 中止	北海道余市郡	-
第48回北海道バルーン フェスティバル	2020.08 中止	北海道河東郡上士幌町	-
埼玉スカイ・スポーツ・フェア 2020	2020.10 中止	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	-
第33回RC航空ページェント	2020.11 中止	栃木県太田市 尾島RCスカイポート	-
第45回おぢや風船一揆	2021.2.20 ~21 中止	新潟県小千谷市	-

4) 協力事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
空まつり2020	2020.11 中止	千葉県野田市 野田市スポーツ公園	-

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 令和2年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齡賞

<長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

ごしま のぼる 五島 登氏 (93歳)	長年にわたり学生航空連盟の指導および航空スポーツの裾野拡大に尽力され、航空の普及発展に多大な貢献をされました。 [前(NPO)学生航空連盟 会長 推薦:(公社)日本航空機操縦士協会]
とりかいつるお 鳥養 鶴雄氏 (89歳)	国産航空機の開発および旅客機の国際共同開発において、わが国の航空産業の発展に寄与するとともに、執筆活動などを通して航空文化の継承に多大な貢献をされました。 [元(一財)日本航空機開発協会 常務理事 推薦:航空ジャーナリスト協会]
まきの たけし 牧野 健氏 (90歳)	長年にわたりグライダースポーツの活性化に尽力されるとともに、ヘリコプタ技術の発展に多大な貢献をされました。 [元(公社)日本滑空協会 会長 推薦:(公社)日本滑空協会]
やまだ けいいち 山田 圭一氏 (89歳)	航空山岳写真家のパイオニアとして活躍されるとともに、著述・講演などを通して航空文化の振興に大きく寄与されました。 [筑波大学 名誉教授 推薦:航空ジャーナリスト協会]

(2) 航空文化賞

<航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞>

本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞>

くぼ こしちろう 久保 小七郎氏 (75歳)	企業の社会的責任に着眼し、環境問題への取組やダイバーシティの推進に尽力するなど、わが国の航空業界の健全な発展と航空文化の醸成に多大な貢献をされました。 [元全日本空輸(株)代表取締役副社長執行役員 推薦:全日本空輸(株)]
なかはし かずひろ 中橋 和博氏 (68歳)	数値流体力学の研究を先導してわが国の航空技術を向上させるとともに、航空産業界の発展と安全性向上に多大な貢献をされました。 [元(国研)宇宙航空研究開発機構 理事 推薦:(一社)日本航空宇宙学会]
なかみち じろう 中道 二郎氏 (70歳)	フラッター解析において顕著な成果を収められ、航空機の機体構造設計技術の高度化に寄与されるなど、わが国の航空宇宙分野の研究開発に大きく貢献されました。 [元(国研)宇宙航空研究開発機構 チーフエンジニア室 特任参与 推薦:(一社)日本航空宇宙学会]
にしおか たかし 西岡 喬氏 (84歳)	民間航空機開発に尽力するとともに、大型旅客機の国際共同開発を通してわが国の航空産業の発展に大きく貢献されました。 [元三菱重工業(株)取締役会長 推薦:(一社)日本航空宇宙学会]

(4) 航空特別賞

<航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞>
本年度は該当者なし

(5) 空の夢賞

<航空、宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をした者またはグループに贈る賞>
本年度は該当者なし

(6) 航空スポーツ賞

<航空スポーツのFAI世界記録を樹立し、又は同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞>
該当者なし

※年齢は受賞時年齢

2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

<航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞>

にしざわ あきら 西澤 明 氏 (56歳)	2009年より日本気球連盟機関紙「風船」の編集長を務め、紙面の改革、団体と会員との結びつきの強化に貢献した。 2007年より塩川バルーンフェスティバルや小山バルーンフェスティバルの競技役員を務め、また、インストラクターやイグザミネーターとして後進の育成にも尽力した。 [推薦：日本気球連盟]
むろや よしひで 室屋 義秀 氏 (47歳)	2003年よりふくしま飛行協会理事としてスカイスポーツを通じた地域づくりと環境整備に尽力した。 2009年より2013年パイロットの技量と安全向上目的とした全日本曲技飛行競技会の技能・安全委員長として大会の開催に貢献した。 2009年よりアジアで初のレッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップのパイロットとなり、2017年に総合優勝を果たす。 2015年よりスカイスポーツ教室を開催し航空スポーツの普及振興に尽力した。 [推薦：(公社)日本航空機操縦士協会]
まつした とくたろう 松下 徳太郎 氏 (66歳)	コントロールライン (以下「CL」) 速度競技の日本選手権で通算14回優勝。1992年CL速度の日本記録を樹立。 日本模型航空連盟理事やCL委員会委員長、CL日本選手権競技委員長を26年務める等、模型航空の普及振興に貢献した。 [推薦：日本模型航空連盟]
きたがわ まさと 北川 正人 氏 (89歳)	1987年より登別飛行協会や北海道ウルトラライト航空連盟の会長を務める等、マイクロライト愛好者団体の組織作りに貢献した。 過去3回北海道で開催されたマイクロライト日本選手権の開催や、超軽量動力機の飛行空域拡大にも尽力した。 [推薦：NPO法人日本マイクロライト航空連盟]

※ 年齢は受賞時年齢